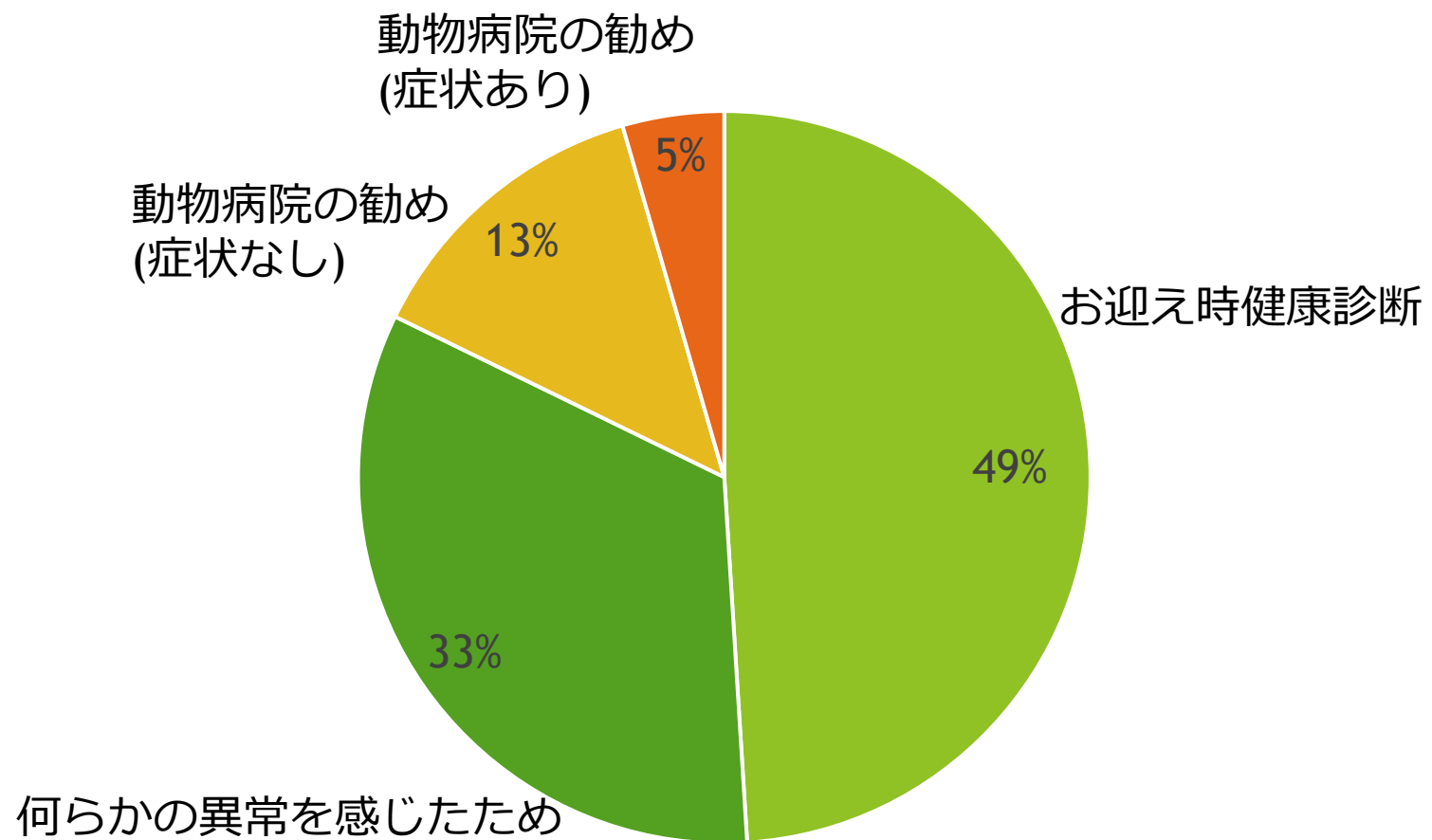


2022年 PBFＤ調査

- 2021年8月～2022年9月までに受けた検査依頼の統計（n=214）

検査を受けたきっかけ

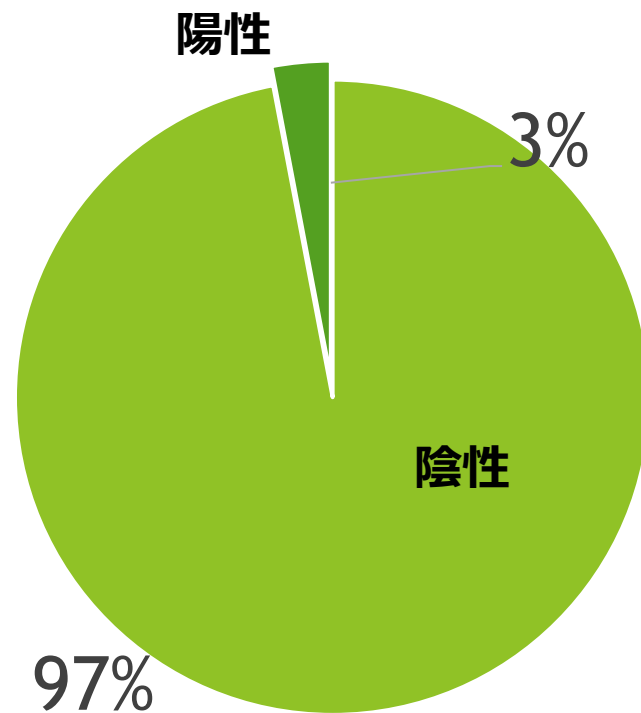


【PBFD】 陽性率

- ▶ 検査依頼全体のうち、PBFD陽性率は3%
- ▶ 生後6か月以内のセキセイインコに絞ると陽性率は16%
- ▶ 陽性率は鳥種として上位よりセキセイインコ、ヨウム、コンゴウインコとなった
- ▶ 感染発覚時の年齢は1歳未満が87%、1～3歳が10%、7歳以上が2%であった

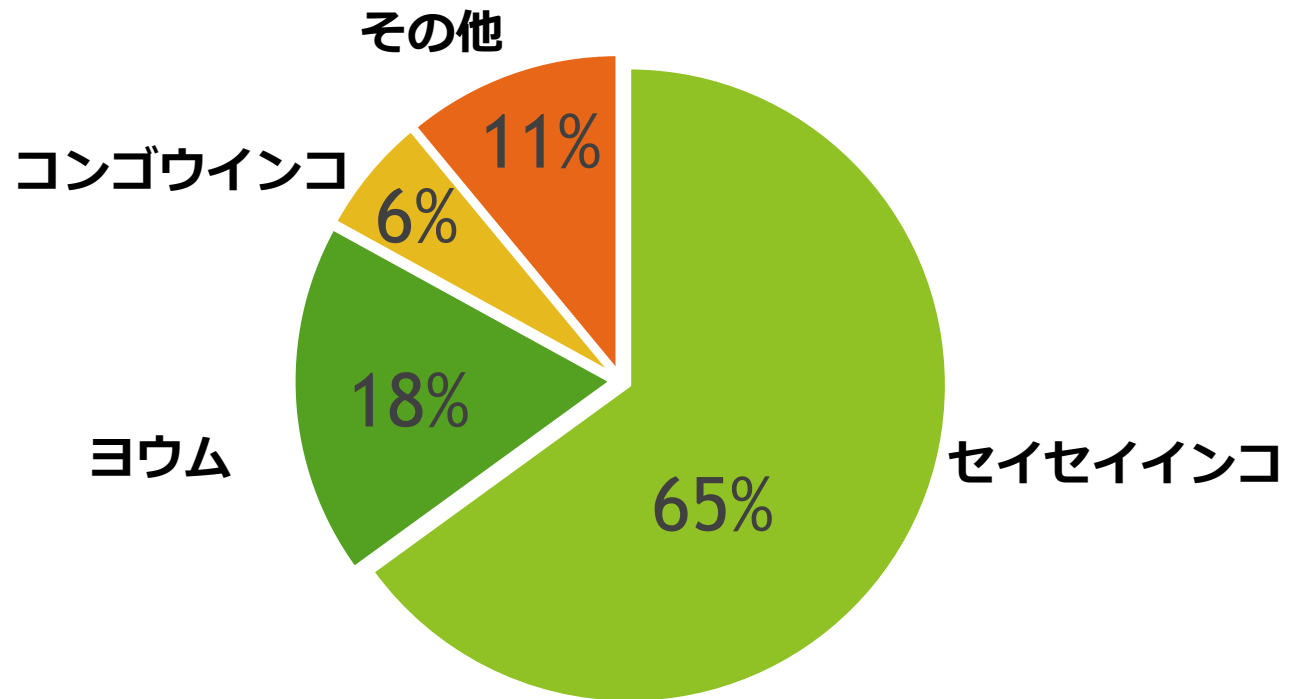
【PBFD】陽性率

▶ 検査全体に対するPBFD陽性率



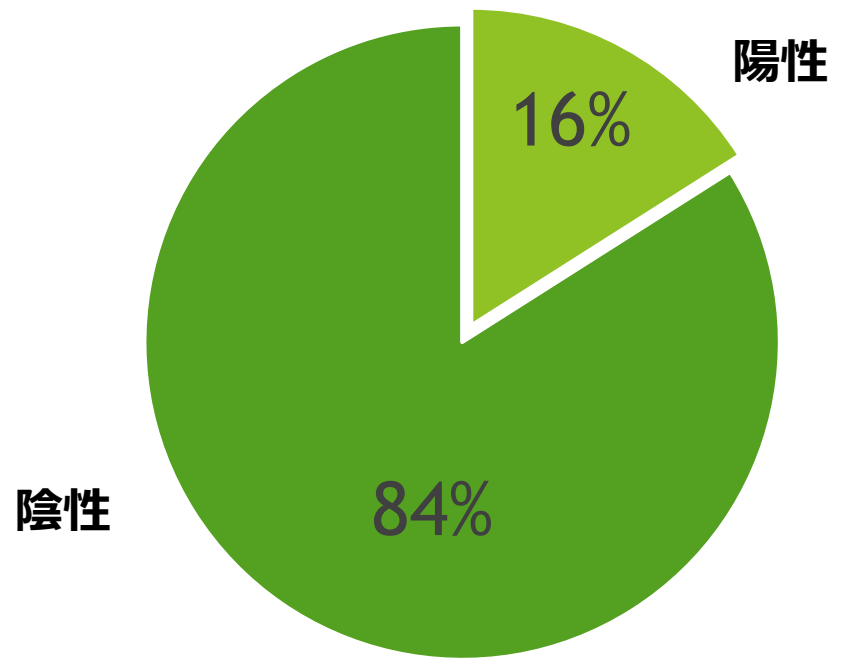
【PBFD】 陽性率

▶ 陽性個体の鳥種別割合



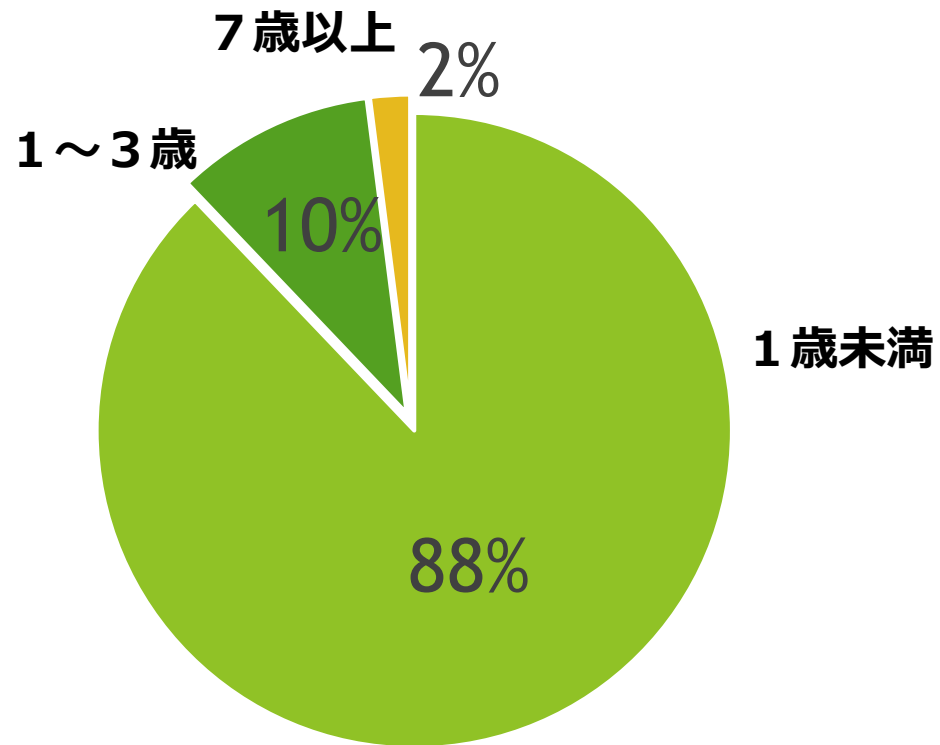
【PBFD】 陽性率

- ▶ 生後6ヶ月未満のセキセイインコのみを対象とした陽性率



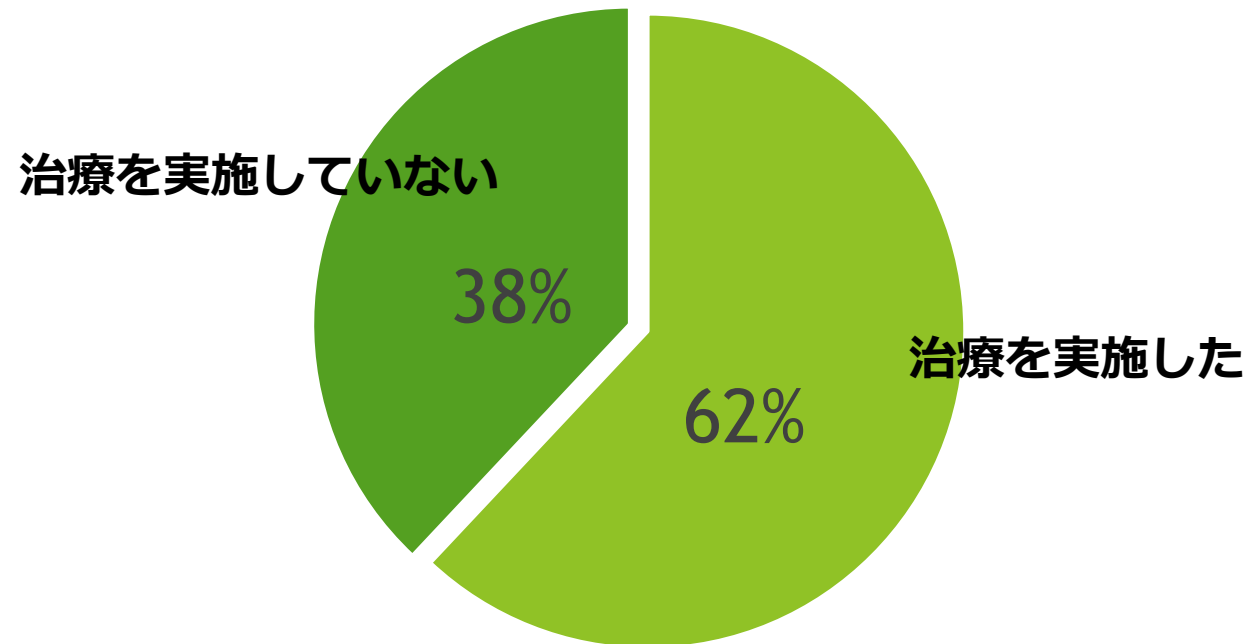
【PBFD】 陽性判定時の年齢

▶ 感染発覚時の年齢



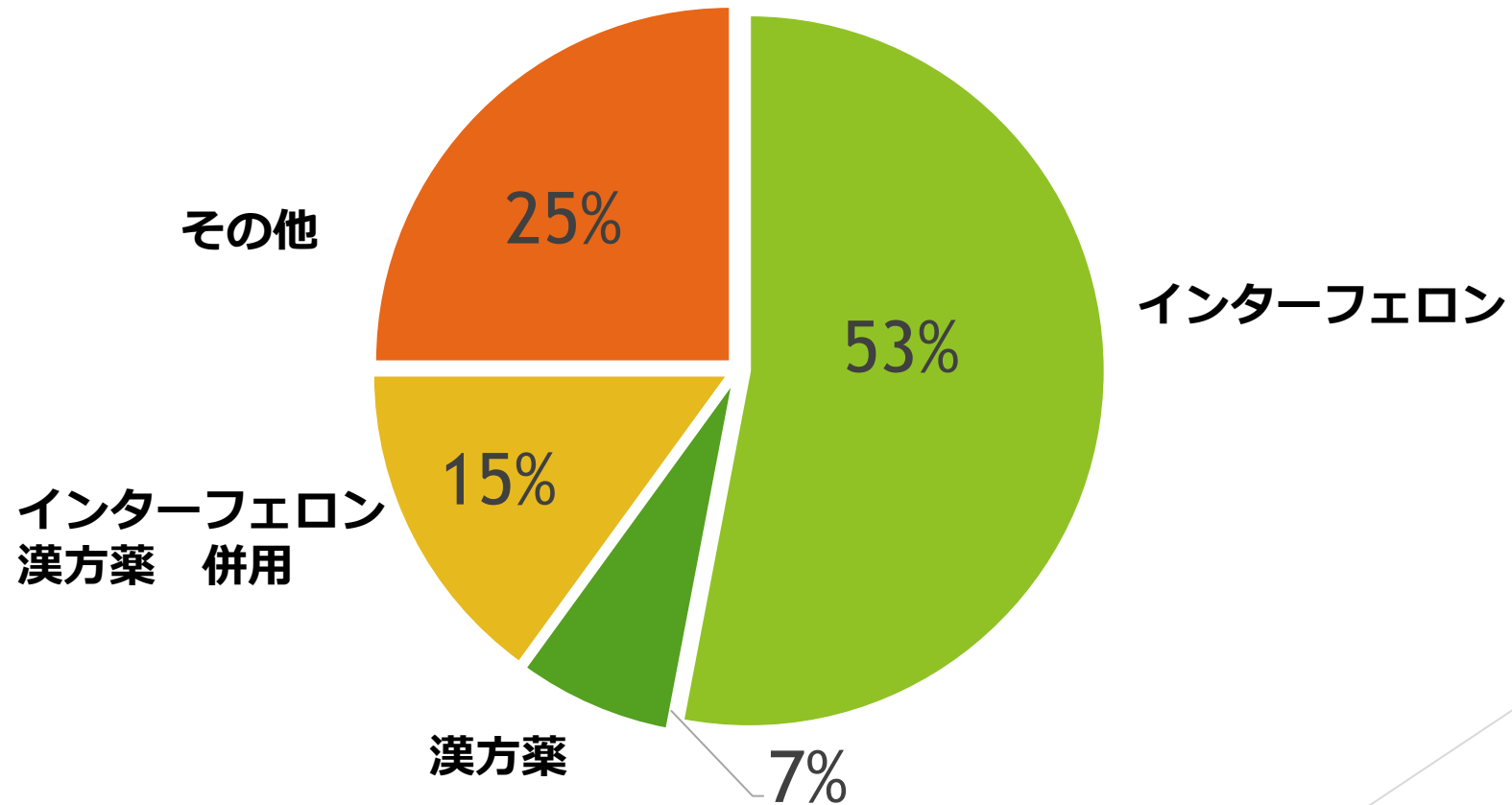
【PBFD】 積極的治療の有無

- ▶ PBFD陽性個体のうち、動物病院で何らかの治療を受けた割合



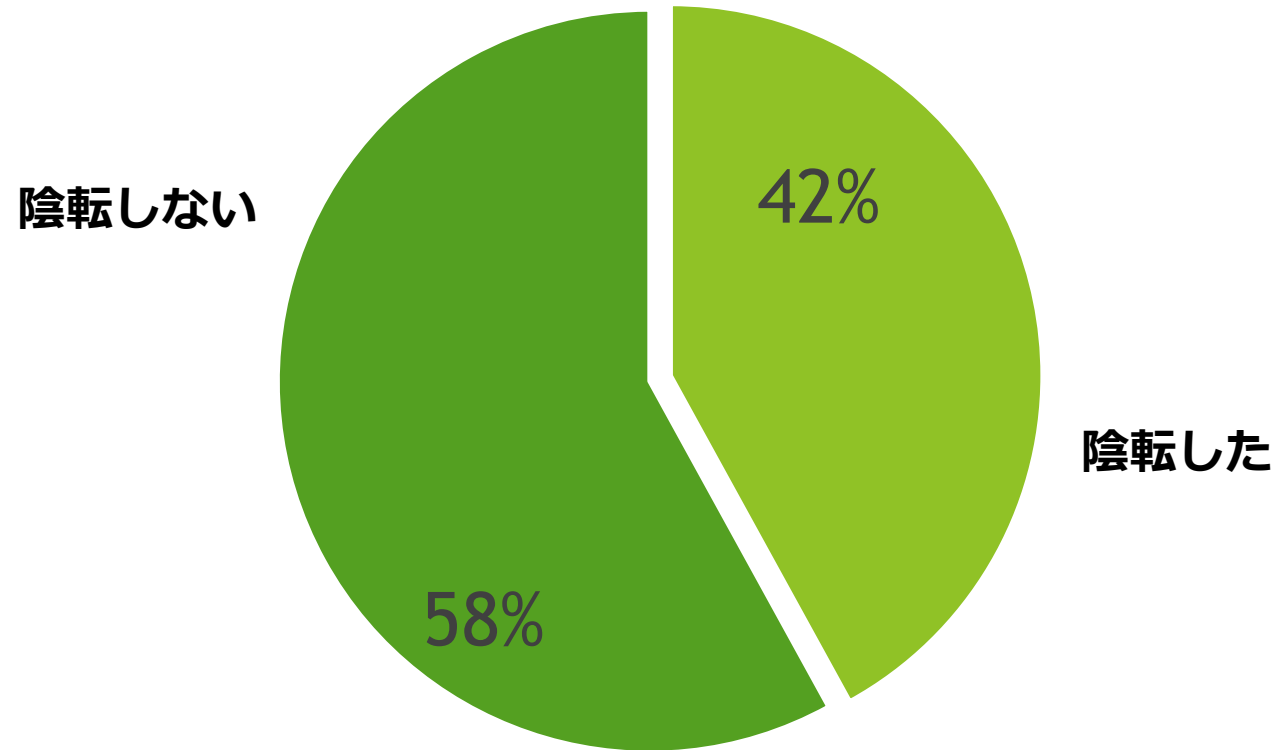
【PBFD】 治療内容

▶ 治療内容



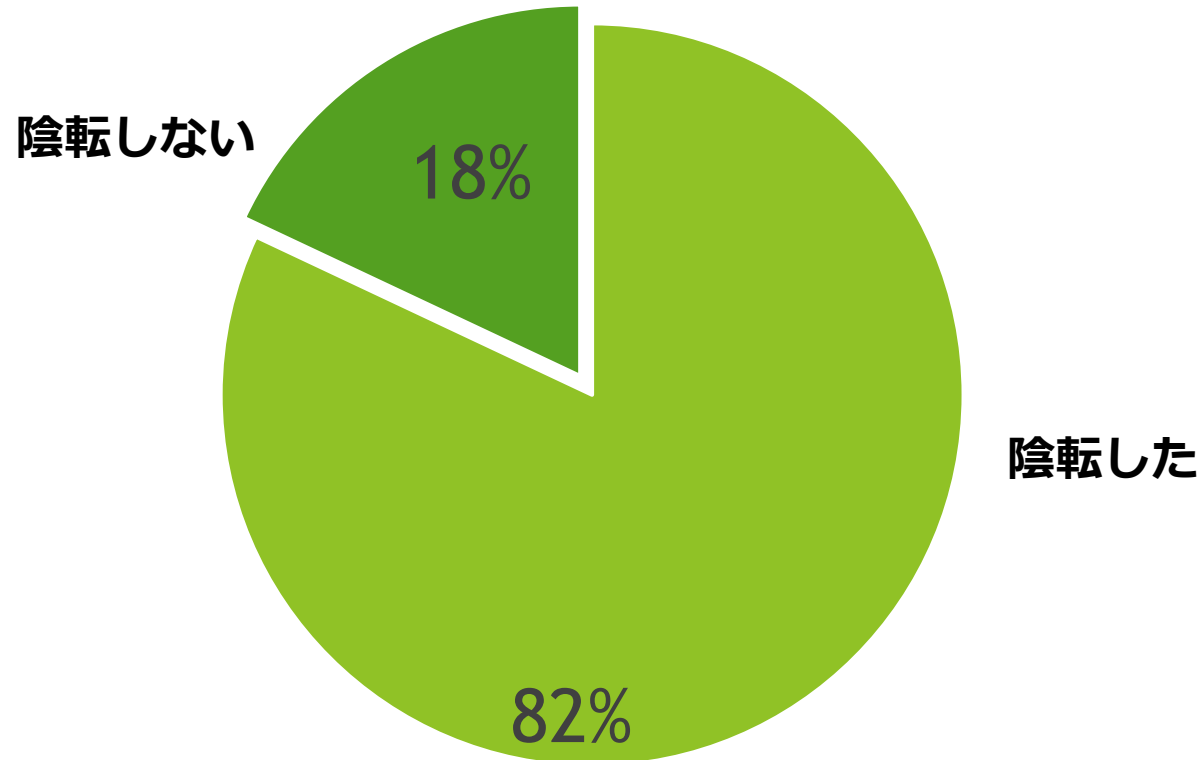
【PBFD】 陰転率(全体)

▶ 全体の5年以内陰転率



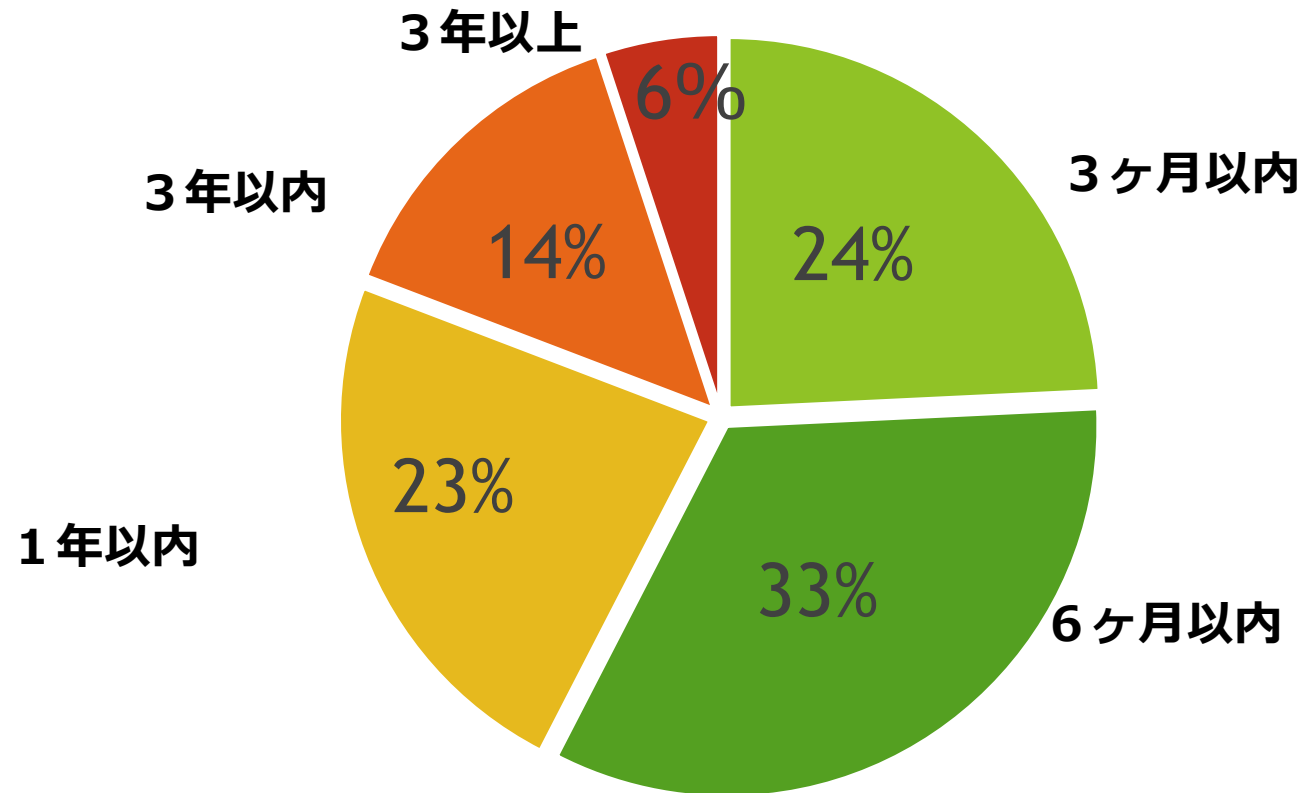
【PBFD】 陰転率(一部)

- ▶ 対象を生後6ヶ月未満セキセイインコ 症状なしとした場合の陰転率



【PBFD】 陰転までの月日

▶ 陰転した個体のうち、陰転までにかかった月日



【PBFD】 陽性個体のその後3

- ▶ 陽性からの陰転率は全体の42%
- ▶ 生後6ヶ月以内に陽性となり、明らかな症状が出ていない場合の陰転率は82%
- ▶ 3歳以上で陽性となり明らかな症状がある場合の陰転率は8%
- ▶ 陰転する場合は1年以内の陰転が78%
- ▶ 陽性→陰性→陽性と繰り返している個体も存在

【PBFD】 その他・考察

- ▶ 生後間もないセキセイインコの陽性個体が著しく多いが、陰転率も非常に高い
- ▶ 発症年齢が高く、または明らかな症状が出てる場合の陰転率は低い
- ▶ ショップなどからのお迎え後の家庭内感染と思われる例も数件見られた
- ▶ 今回オカメインコの陽性個体はゼロだった
- ▶ PBFD陽性個体のうち、6%がAPVにも感染していた
- ▶ 積極的治療の有無は陰転率に大きな差がなかった

- ▶ 今回、陽性個体の追跡時に既に死亡していた個体に関する統計は含まれていない